

第15回 ESD大賞 募集要項

—Education For Sustainable Development Award—

世界の持続可能性への危機感が高まる中、社会全体でSDGsへの取り組みが進められています。学校教育においても学習指導要領で「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられ、持続可能な社会の構築に向けて、問題意識をもって学び、判断し、行動できる人材の育成、即ちESD (Education for Sustainable Development) への深い理解と価値ある実践が強く求められています。

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、このESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施しております。教科等横断的なカリキュラム編成の工夫や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学校全体での取り組み、地域の特性を活かし、人や関係機関とのつながりを大切にした実践、独自性のあるお取り組みなどを広く募集いたします。

さらに、第15回目を迎える本年度は、ESDの主役は子どもたちであるという観点から応募校の中から個人の作文も募集いたします。

下記募集要項をよくお読みの上、奮ってご応募ください。

【主催】 NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

【後援(予定)】 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社、
(公財) ユネスコ・アジア文化センター、(公社) 日本ユネスコ協会連盟

【協力】 東京工科大学、日本工学院

【協賛】 ネスレ日本株式会社

【企画運営】 株式会社朝日エル

【審査委員(予定)】

細谷美明 (元全日本中学校長会会長、一般社団法人全国図書教材協議会会長)

見上一幸 (宮城教育大学名誉教授)

北 俊夫 (一般財団法人総合初等教育研究所評議員)

田村哲夫 (元日本ユネスコ国内委員会会長、学校法人渋谷教育学園理事長)

手島利夫 (ESD,SDGs 推進研究室室長)

齋藤英行 (株式会社教育新聞社顧問)

岡山慶子 (株式会社朝日エル会長)

住田昌治 (学校法人湘南学園学園長)

勝浦寿美 (東京工科大学教養学環副学長／教授)

赤津隆 (東京工科大学片柳研究所所長)

文部科学省 国際統括官付関係より一名

学校の部

ESD の理念に基づいた実践研究事例の報告を募ります。

○実践研究の対象

幼稚園～高等学校における ESD の実践事例報告であること。

- ① ESD の全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わる ESD の実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わる ESD の実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わる ESD の実践研究。
- ⑤ ESD における教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESD における家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの加盟申請中、キャンディデート校、もしくは興味がある。

○応募対象 すべての校種（幼稚園～高等学校）

○応募方法

- 1) 応募フォーマットに必要事項を記入してください。
- 2) 実践研究の内容やねらいがわかる資料（年間指導計画、学習指導案、教材、活動写真）を同封してください。ただし、A4 判で 5 頁以内。

個人の部

第 15 回 ESD 大賞では、応募校の中から児童生徒の作文も募集します。実践の成果を子どもたちの声から検証することをねらいとしています。優秀賞には 3,000 円の図書カードをお贈りします。

○応募対象 小学生以上の児童生徒（各学校 5 名まで）

○応募方法

- 1) 字数：800 字まで（フォーマット指定なし。各自原稿をご用意下さい。）
- 2) テーマ：自校の実践を通して感じたこと、未来を見つめて自分ができることは何か。

[資料送付先・事務局]

上記資料を E-mail、郵送のいずれかでお送りください。応募資料は返却致しません。

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 「ESD 大賞」事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-14-5 光澤堂 GINZA ビル 7 階 朝日エル内
TEL : 03-3545-3651 FAX : 03-5565-4914 E-mail : info@jp-esd.org

【スケジュール(予定)】

令和6年9月30日(月) 〆切(事務局必着)

↓審査

令和6年10月末 受賞校発表

令和6年11月30日(土) 第16回ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会 表彰式
(場所) 国立オリンピック記念青少年総合センター

令和6年12月 ESD大賞実践集の作成

【実践集の作成(予定)】

受賞校には、実践研究事例の詳細を執筆していただき(B5判で各校3~5頁)、冊子にまとめ、ESDの優れた教材として、ホームページで公開させていただきます。

【顕彰】

応募いただいた事例の中から、審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。

・文部科学大臣賞	1校
・ユネスコスクール最優秀賞	1校(ユネスコスクールのみ対象)
・ESD優秀賞	3校
・ESD精励賞	3校
・個人賞	5名程度
・オリジナル賞(検討中)	

【第14回ESD大賞受賞校とテーマ】

文部科学大臣賞	勝山市立成器南小学校	ふるさと勝山の魅力発見・発信!
ユネスコスクール最優秀賞	宮城県仙台第三高等学校	高等学校における地域を学習素材とした探究的な学び
ESD優秀賞	気仙沼市立鹿折小学校	ふるさとを愛し、共に学び、未来を拓く力を身に付けた児童の育成
	秋田県大仙市立大曲南中学校	SDGsの達成に向けたESDの実践 ～「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐESD～
	浜松開誠館中学校高等学校	主体的で心豊かな地球市民。気候危機に立ち向かう
ESD精励賞	ひかりの森こども園	園生活から始まる循環探し
	東海大学附属大阪仰星高等学校中等部	SDGsをテーマとした課題解決プログラム「10年後、戻りたくなる枚方のまち」
	新渡戸文化中学校・高等学校	子どもたちが“Happiness Creator”になるESD
審査員特別賞	Lao Japan School	ラオスと日本の共同学校。自分の興味を自由に探求できるよう、しっかりとした基礎、優しい心、鋭い知性を育む